

## インドネシア共和国独立記念祭を開催

2011年8月29日(月)、リーガロイヤルホテル広島において、インドネシア共和国の独立66周年を祝う



▲光原大樹さんによる琴の演奏

記念祭を開催しました。駐日インドネシア共和国大使館のムハンマド・ルトゥフィ大使をはじめとする来賓の方々を迎え、約160名の方にご出席いただきました。記念祭は若手箏曲家の光原大樹さんの演奏による琴のしらべに始まり、エイシアンハーモニーアンクルン合奏団による伴奏でインドネシアと日本の国歌を合唱し、開会しました。

まず、田村会長、広島県知事代理橋本康男国際部長、インドネシア大使館ムハンマド・ルトゥフィ大使から挨拶がありました。

留学生の、スマトラ島北部由来のサマングスの披露があった後、田村会長から帰国する留学生一人ひと



▲田村会長



▲インドネシア共和国大使館ムハンマド・ルトゥフィ大使



▲留学生によるサマングスの披露

り記念品の贈呈がありました。帰国留学生を代表してヨセフ・ノバン・アンドリアン・ルムバントビンさんから広島での思い出を交えた挨拶があり満場の拍手が送られました。



◀インドネシア留学生と懇談されるムハンマド・ルトゥフィ大使

田村会長から留学生のみなさんに記念品の贈呈

最後に帰国留学生をエイシアンハーモニーアンクルン合奏団の「また会いましょう」の演奏のなか拍手でお見送りして、閉会しました。

最後に帰国留学生をエイシアンハーモニーアンクルン合奏団の「また会いましょう」の演奏のなか拍手でお見送りして、閉会しました。



◀中閉めの挨拶をされる協会運営委員の広島大学高橋教授

▲帰国留学生の代表挨拶を行うルムバントビンさん



拍手で帰国留学生たちをお見送り

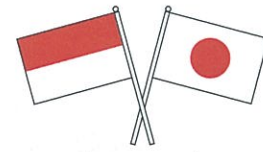
## インドネシア料理教室

お馴染みのインドネシア料理店ワルン・マタハリのイ・ワヤン・スラスナさんを講師に迎えて、2011年11月5日(土)に広島ガスショールームのガストピアセンターにおいてインドネシア料理教室を開催しました。今回は37名の参加を得てにぎやかな教室になりました。

「チキンカレー&ごはん」、新メニューの「イカのスパイシー炒め」、揚げないバリ風生春巻き「ルンピア」、黒米ともち米のデザート「プブルインジン」を作り、

どれも好評でおいしくいただきました。

調理中も試食中も楽しい雰囲気、和気あいあいとした料理教室となりました。



# 広島インドネシア協会会報 第22号

2011年12月26日

編集・発行 広島インドネシア協会  
広島ガス(株) 広報環境部内  
〒734-8555 広島市南区皆実町2-7-1 TEL(082)252-3154

## 第4回 親善訪問団インドネシアへ〜ご報告

2011年10月10日(月)～10月17日(月)にか



▲フマキラーインドネシアタンゲラン工場にて

けて、第4回目となる親善訪問団が、田村会長を団長とする20名の構成で、ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バリ島を訪問しました。12日ジャカルタでは、日本企業現地法人の団体であるジャカルタジャパンクラブ(JJC)、在インドネシア日本国大使館へ表敬訪問しました。また広島インドネシア協会会員であるフマキラー(株)様の現地法人フマキラーインドネシアのタンゲラン工場を見学(ジャカルタ郊外)。さらに同日夜には、元留学生から成る広島国際クラブジャカルタ支部のみなさん、当協会にゆかりのある



▲広島国際クラブジャカルタ支部、お世話になった外交官との懇親会にて

外交官の方々と懇親会を開催して旧交を温めました。古都であるジョグジャカルタでは、世界最大級の仏教寺院であり、世界遺産にも登録されている「ポロブドゥール遺跡」、ヒンドゥー教の遺跡としてはインド



▲ポロブドゥールにて

ネシア最大級で、同じく世界遺産にも登録されている「プランバナン寺院群」などを訪問し、その規模の大きさ・荘厳さに圧

### 旅程

- 10/10(月) 広島空港→(羽田空港経由)成田空港
- 10/11(火) 成田空港→ジャカルタ
- 10/12(水) 日本国大使館・JJC・フマキラーインドネシア訪問
- 10/13(木) ジャカルタ→ジョグジャカルタ ポロブドゥール遺跡見学
- 10/14(金) 王宮とパティック工房見学  
プランバナン寺院・サンビサリ寺院見学  
ジョグジャカルタ→バリ島
- 10/15(土) 終日：バリ島
- 10/16(日) バリ島→ジャカルタ→成田空港(帰国の途に)
- 10/17(月) 成田空港(羽田空港経由)→広島空港



▲プランバナン寺院にて

倒されました。バリ島では、芸術の中心地として、バリ文化の多様性を見せてくれるウブドを訪問。また有名な舞踏劇であるケチャックダンスを鑑賞したり、更には美しいバリの海を満喫しました。

今回の親善訪問で、現地の方々と団員との相互の理解を深めることができ、大変有意義なものとなりました。団員からは、

“インドネシアが改めて大好きになりました”との感想が多数寄せられました。当協会は今後とも、インドネシアとの友好親善により一層貢献できますように活動してまいります。



▲バリ島 ウブドにて



▲バリ島 踊り子と

## 講演会開催

2011年2月14日(月)、ホテルセンチュリー21広島において、**国士館大学 戸津正勝先生**を講師にお迎えし、講演会を開催しました。

『多民族国家インドネシアの現状と課題 一服飾文化を通じて考える』という演題で、ご講演いただきました。ご講演の概要を紹介します。

### 1. はじめに

私は、京都の西陣に生まれ、友禅染の職人の家庭で育った。



約40年前、インドネシアの憲法を勉強するために、インドネシアに行ったところ、逆にインドネシアの服飾にとりつかれて、インドネシアの世界にのめり込んでいった。インドネシアには120回以上行っているが、インドネシアは広すぎて、未だに知らないことが多い。服飾は、国家、インドネシアのそれぞれ民族のアイデンティティそのものであり、非常に重要な役割を果たしている。

### 2. インドネシアの服飾文化の特徴と歴史

各民族のアイデンティティのシンボルとして、バティック(更紗)、イカット(緋織)、ソケット(錦織)等、古代からの技術やモチーフにより驚くほど多様な服飾文化が形成された。

インドネシアの更紗と織物は文化対立の歴史である。染物は、ジャワ島のみで行われており、それは、ジャワ島対その他外島という構図になる。ジャワ島は、全国土の1割にもみえないが、豊富な農作物の生産が得られる地域であり、文化的・歴史的にインドネシアの中心的な役割をはたしてきた。

バティック文化は、古代ヒンドゥー・ジャワ王国の王宮文化のシンボルとして、発展を遂げ、イカット文化は、外島に住む各民族のアイデンティティのシンボルとして発達した。

バティックは、15世紀から20世紀にかけて、中国・アラブ・オランダなどの影響をうけ、自由なモチーフと色彩豊かなものが制作された。

ジャワの人の特徴として、空白は手抜きだと考えており、服飾に空間がない。また斜めが好き、立て柄がないという特徴がある。現在のジャカルタの元気さは、世界で一番だと考えている。今インドネシアでは、伝統文化をたいへん重視する傾向になっている。

### 3. 日本との関係について

もったいないと思うのは、日本人は遠慮しすぎであり、学ぶだけでなく、日本の素晴らしいものを持ちこんで、さらにバティックを改良するくらいの気概があって良いと考えている。

今後文化面での両国の協力が必要であると考えている。例えば専門家学芸員を博物館に配置するような事は必要ではないか。インドネシア人は日本人のことが、大好きであり、同じく日本人もそうである。例えば、日本は留学生を受け入れるだけではなく、奨学金をつけて日本人留学生を送り込むような政策が必要ではないだろうか。

経済だけではなく、インドネシアとの交流がいろいろな方面で強くなっていくことを希望してやまない。

### 4. ジャワのバティックからインドネシア・世界のバティックへ

初代大統領スカルノは、バティックをたいへん重視した。当時は、国会などでも服装はバラバラであった。

インドネシアでは当初、バティックを世界無形文化遺産に申請しなかった。ところがマレーシアが、バティックを世界無形文化遺産として申請する動きがあったことから、急遽、インドネシアはユネスコに申請し、バティックは一昨年無形世界文化遺産に登録された。

インドネシアのGDPはASEANの中で50%程度を占め、ますます大きい存在になっている。インドネシアは大きすぎる為にさまざまな多様性があり、その中でいろいろな混乱・衝突があったが、世界の中でも、非常にうまく国家形成に成功した代表例の国であると言える。その中でバティックは「民族統一の希望」として重要な役割を果たしている。



#### ●講師略歴●

1972年 早稲田大学政治学専攻修士課程修了  
1990年 国士館大学教養部教授  
1996年 国士館大学政経学部教授  
現在 国士館大学大学院政治学専攻科科長

#### おもな研究分野

- ①アジア地域研究
- ②東南アジアにおける多民族国家と国民国家の形成
- ③インドネシアにおける国民文化の形成過程

## 2011年度総会

2011年5月31日(火)、ANAクラウンプラザホテル広島において2011年度総会を開催しました。駐日インドネシア共和国大使館のアルディ・ヘルマワン公使のほか、在大阪インドネシア共和国総領事館のイブヌ・ハディ総領事を来賓に迎え、約160名の方々のご出席をいただきました。

学生から歌と踊りの披露があり、盛会のうちに終了しました。



▲田村会長挨拶



▲インドネシア共和国大使館  
アルディ・ヘルマワン公使



▲県知事代理  
橋本康男国際部長



▲市長代理  
若林健祐国際平和推進部長

総会では、田村会長、アルディ・ヘルマワン公使の挨拶があった後、すべての議案が承認され、滞りなく終了しました。

交流会では、広島県知事代理橋本康男国際部長の挨拶、広島市長代理若林健祐国際平和推進部長の乾杯で幕をあげた後、日本とインドネシア間で締結された経済協定(EPA)に基づき、本年度広島県から初めて、看護師国家試験に合格されたテレジア・マリア・トジ・ピオさんに対して、お祝いを行いました。その後、留



▲乾杯の発声



▲看護師国家試験に合格されたテレジア・マリア・トジ・ピオさんのスピーチ



▲アルディ・ヘルマワン公使から花束の贈呈をされるトジさん



▲トジさんの合格を祝して田村会長から記念品の贈呈



▲歌と踊りを披露する留学生のみなさん

## インドネシア語講座

2011年7月30日から10月19日までの毎週水曜日に、広島市留学生会館においてインドネシア語講座(全10回)を開講しました。講師として広島大学歯学部でご研究されているウディアント・デジョジョサンコさんを迎え、テキストの“やさしい初歩インドネシア語”を中心に活用しながら、あいさつや会話を学びました。



ウディアントさんは、ご多忙の中、自作の資料を作成されたり、インドネシア語の習得度の異なる生徒に対して、それぞれの生徒に合わせた質問をするなど、丁寧に教えていただき、好評の講座となりました。

来年度も開催予定ですので、ご興味のある方は広島インドネシア事務局(TEL:082-252-3154)までご連絡ください。